

AAF NEWS

VOL.22

2019
AUTUMN

ご協力いただいたみなさまにAAFの活動をお知らせします

CONTENTS

TOPICS

毎日メディアカフェでAAFの活動について講演を行いました

SITE REPORT

フィリムのブダ・スクールでコンピュータールームの計画を進めています

マナスル街道で土砂崩れが多発しています

INFORMATION

AAF PROFILE

AAF Asian Architecture Friendship



寄宿舎で暮らす女子生徒たち

NEWS

フィリムでブダ・スクールの便所棟再建工事が完了しました

>次ページに詳細を掲載

NEWS

フィルムでブッダ・スクールの便所棟再建工事が完了しました

2015年のネパール中部地震で被災した便所棟の再建工事が本年6月に完了しました。この工事をもって、2016年1月より着手したブッダ・スクールの震災復興事業がようやく終了しました。約3年半にわたりご支援、ご協力いただきました多くの皆様にあらためて感謝の意を表します。

便所棟は震災直後は一部壁が崩れていましたが、寄宿舎ほどの大きな被害はなかったため、注意しながら使い続けていましたが、年々壁の崩れが大きくなり屋根も傾いてきて雨も漏り始めたため、解体撤去することを決定し、昨年より別の場所に新しい便所棟の再建計画を進めてきました。敷地にレベル差があり、一部造成工事が発生したため、予定より5か月ほどスタートが遅れましたが、建築工事に着手してからは順調に進捗し、本格的な雨季に入る前に完成させることができました。当初は女子専用として計画していましたが、寄宿舎に近いこともあり最終的には中央に間仕切り壁を設け女子も男子も利用できる便所となりました。新しい便所棟は耐震補強が施されていることはもちろん、洗面台や便器の廻りに今回初めてタイルを貼り、衛生面にも配慮されています。また照明器具も設置することで夜でも安全、安心して利用でき、生徒たちの評判は上々です。



完成した便所棟



タイルを貼った便器廻り

今回の工事では設備関連の工事費(全体の約12%)をイギリスの国際ロータリークラブに支援いただき、日英の共同作品となりました。



天井に設置された照明器具

TOPICS

毎日メディアカフェでAAFの活動について講演を行いました

本年10月17日(木)に毎日新聞東京本社内の毎日メディアカフェでAAF副理事長の野田隆史が「ヒマラヤの子どもたちに教育の場を」というテーマで講演しました。

毎日メディアカフェは開かれた新聞を志向してきた毎日新聞社が「B with C=読者とともに作る新聞」をコンセプトに交流と情報発信を目指す場で、毎月様々なイベントや講演会が行われています。今回のセミナーでは十分な教育を受けることができないヒマラヤの子どもたちの現状と、20年にわたるAAFの活動および今後の取組みについて1時間余りお話しした後、参加者との質疑応答を行いました。会場が講演者と参加者のコミュニケーションがとりやすい適度な広さであることもあって、教育の問題から環境問題、資金面の課題など活発な意見交換がなされ、有意義な時間となりました。



毎日メディアカフェで講演

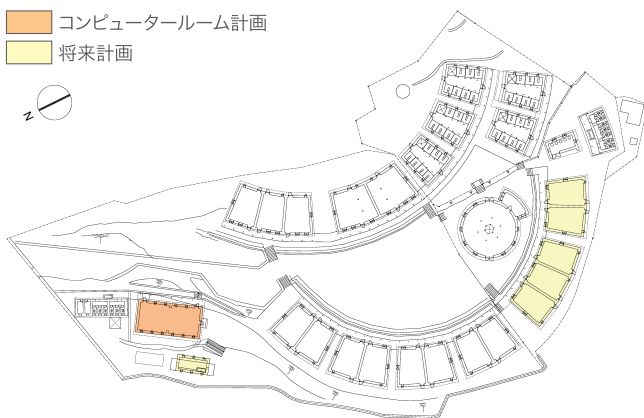
SITE REPORT

フィリムのブッダ・スクールでコンピュータールームの計画を進めています

AAF NEWS vol.21でご紹介したパソコンを使った教育を積極的に進めるために、ブッダ・スクールでコンピュータールームの計画を進めています。

フィリムは今でも車の通れる道まで歩いて2日かかり、そこからカトマンズまで車で数時間かかるという場所にあり、多くの子どもたちは村から出たことがありません。世界の状況や現代の技術について、文字や写真での情報しかなく、実感として現代の世界を知る機会ほとんどないのです。そこでAAFはこの学校にパソコンを用いた授業ができる施設を建設し、ITによって世界とつながることができる場を提供することで、先端的な教育環境を向上させたいと考えました。ブッダ・スクールで学ぶ子どもたちの向学心は極めて旺盛で、成績も優秀です。IT教育によって世界や現代の技術を知ることによって彼らの目はより開かれ、能力を発揮する機会も拡大することが予想されます。

アジアで最も貧しい国の一つとされているネパール、そしてそのネパール国内でも格差のある社会で育ってきた彼らが広い視野と高度な知識や教養を身につけて社会に出ていくことで、ネパール自体が抱える課題、国際社会が抱える課題解決に向けて活躍できる人材が育っていくことを期待したいと思います。



配置図



コンピュタールームの建設予定地

AAFは計画の第一歩として本年9月に現地を訪れ、建設予定地の実測と現地スタッフとの打合を行いました。その実測結果をもとに60人収容できるコンピュータールームの配置計画を行い、現在設計図まで完成しています。ただ現状では建設資金が不足しており、完成させるためには少なくともあと400万円以上が必要です。ブッダ・スクールの子どもたちのために1人でも多くの皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

マナスル街道で土砂崩れが多発しています

フィリムへ行くにはカトマンズから車で数時間のソティ・コーラという村からブリ・ガンダキという川に沿って山道を約40kmほど歩いて行かなければなりません。普通に歩くと約2日かかります。この道は1956年に日本隊が初登頂を達成したマナスル(8,163m)に通ずる街道です。マナスル街道では2015年のネパール中部大地震以降、資材の運搬を容易にするために、山肌を削って道の拡幅工事が進められています。しかし削った山肌の地崩れ対策が十分に行われていないため、雨季になると地盤が緩み、あちこちで落石や土砂崩れが起きて危険な状態になっています。雨季は川が増水しているため河原を通るルートがとれず、フィリムへ行くにはこの街道を通らざるを得ないのですが、頭上と足元に注意しながら慎重に歩かなければなりません。



土砂崩れでふさがれた街道



削り取られた山肌

AAF PROFILE

AAF (Asian Architecture Friendship)

2000年、竹中工務店大阪本店設計部の有志を中心に設立した民間ボランティア団体です。

建築を専門とする職能を活かして、ネパールのフィルムでの学校建設(2003年竣工)を皮切りに、ポカラの女子学生寮の建設支援など、アジア地域の開発途上国における学校等の施設建設支援を中心とする活動を行っています。

設立以来15年間任意団体として活動した後、2015年4月に特定非営利活動法人の認証を取得し、現在に至っています。

AAFの活動と実績

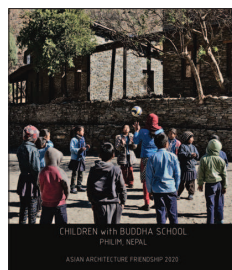
- 1999.10 竹中工務店設計部有志を中心としたメンバーでネパールを視察
- 1999.12 ネパールのヒマラヤ山麓の村、フィルムを調査
- 2000.03 ボランティア団体AAF (Asian Architecture Friendship) を設立、ネパールのフィルムにて学校建設計画をスタート
- 2001.10 草の根無償資金の供与を受け、フィルムの学校が着工
- 2003.04 フィルムの学校 'Buddha Primary&Secondary School (ブッダ・スクール)' 竣工
- 2005.04 「ヒマラヤに学校を建てよう! 建築家のボランティア奮闘記 (彰国社) を出版
- 2005.07 「AAFのNGO活動ーヒマラヤの学校建設ー」展を開催 (ギャラリーエークウッド/東京)
- 2006.04 こども環境学会賞活動奨励賞受賞
- 2006.08 日本ネパール女性教育協会との提携によるカニヤキャンパス・ポカラ「さくら寮」竣工
- 2006.10 「パラレル・ニッポン 現代日本建築展1996-2006」(東京写真美術館) に出展
- 2007.05 日本建築学会賞(業績) 受賞
- 2008.08 フィルムのブッダ・スクール、ポカラのさくら寮がイタリアの建築雑誌'domus'に掲載
- 2008.08~ 国際巡回展「地球にやさしい建築展」に出展
- 2009.05 フィルムの2期工事である寄宿舎(3棟)と食堂棟、便所棟が竣工
- 2009.10 ブッダ・スクールが第11回国際石材建築賞を受賞
- 2010.03 「ヒマラヤの学校建設その後ーAAFのNGO活動展vol.2」を開催 (ギャラリーエークウッド/東京)
- 2011.09 UIA2011東京大会第24回世界建築会議にてフィルムの学校プロジェクトを発表
- 2011.12 フィルムに4棟目の寄宿舎が竣工
- 2012.09 フィルムの3期工事(厨房棟)が着工
- 2013.02 厨房棟が竣工
- 2013.12 引き続き教員宿舎が着工
- 2015.02 「ヒマラヤの学校建設15年の軌跡ーAAFのNGO活動展vol.3」を開催 (ギャラリーエークウッド/東京)
- 2015.04 AAFが特定非営利活動法人(NPO法人)の認証を取得
- 2015.04 ネパール中部で発生した大地震により、フィルムのブッダ・スクールが被災
寄宿舎3棟と工事中の教員宿舎の壁が崩れ、修復不能な被害を受ける
- 2015.09 ブッダ・スクールの被災状況について現地調査を実施
- 2016.01 地震で被災した寄宿舎の再建工事に着手
- 2016.04 1棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2016.07 自由都市・堺 平和貢献賞受賞
- 2016.07 2棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2017.03 3棟目の寄宿舎の再建工事が完了
- 2018.09 5棟目の寄宿舎が竣工
- 2019.06 地震で被災した便所棟の再建工事が完了
ブッダ・スクールの震災復興事業が終了する

INFORMATION

AAFの2020年カレンダーができました

2020年のAAFカレンダーができました。

ご希望の方は1口1000円の寄付+送料(下記参照)をお願いいたします。寄付1口につき、カレンダーを1部お送りさせていただきます。



卓上型・CDケース入り
サイズ12.5cm×14.1cm×0.9cm

>>>申込方法①: AAFの公式サイトのカレンダー申込ページ(下記)からお申込みください

<http://aafjpn.org/contribution/calendar2020/mousikomikomi>

>>>申込方法②: ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「カレンダー希望」と記入の上、寄付金(1口1000円)と送料をお振込みください(記入がない場合は通常の寄付扱いとなります)

※送料/1口:200円 2口:250円 3~4口:350円
5~8口:400円 9口以上:550円

AAFの賛助会員を募集しています

AAFの活動は多くの皆さまからのご協力によって成り立っています。

賛助会員制度は活動の主旨にご賛同いただき、継続してご支援いただける方にAAFの賛助会員になっていただき、その会費を支援活動の資金に充当する制度です。賛助会員はAAFの活動における資金ボランティアと位置付けられ、具体的な活動やその他の責任は求められていません。賛助会員になっていただいた方には会報「AAF NEWS」と「AAFカレンダー」をお送りさせていただきます。ぜひとも多くの皆さまの入会をお待ちしております。

>>>入会方法

ゆうちょ銀行払込取扱票の通信欄に「入会希望」とご記入の上、郵便振替にて下記の会費をお振込ください

>>>会費

一般賛助会員: 1口 5,000円(年額)
法人賛助会員: 1口50,000円(年額)

AAFへの郵便振替は下記口座をお願いいたします

>>>口座番号:00910-0-64819

>>>加入者名:AAF基金

※払込取扱票には住所・氏名・電話番号を必ず記入してください

※電子メールをご利用可能な方はE-mailアドレスを併記ください

※個人情報はAAF基金運用の目的以外で使用いたしません

編集後記

日本でも大変な災害が起きました。被害に遭われた方にお見舞い申し上げます。常に備えることが大切と改めて実感しました。T